

4-3-3 予備品及び魚函

名称	数	仕様
主機関、発電用機関、 発電機関係予備品	オーバーホール2回分	
その他の機器類関係予備品	2年分	
魚函	100ヶ	25kg入
防熱魚函	100ヶ	25kg入

4-3-4 設計図

(水産資源調査・訓練船)

1. 一般配置図 (地中海用)
2. 一般配置図 (紅海用)

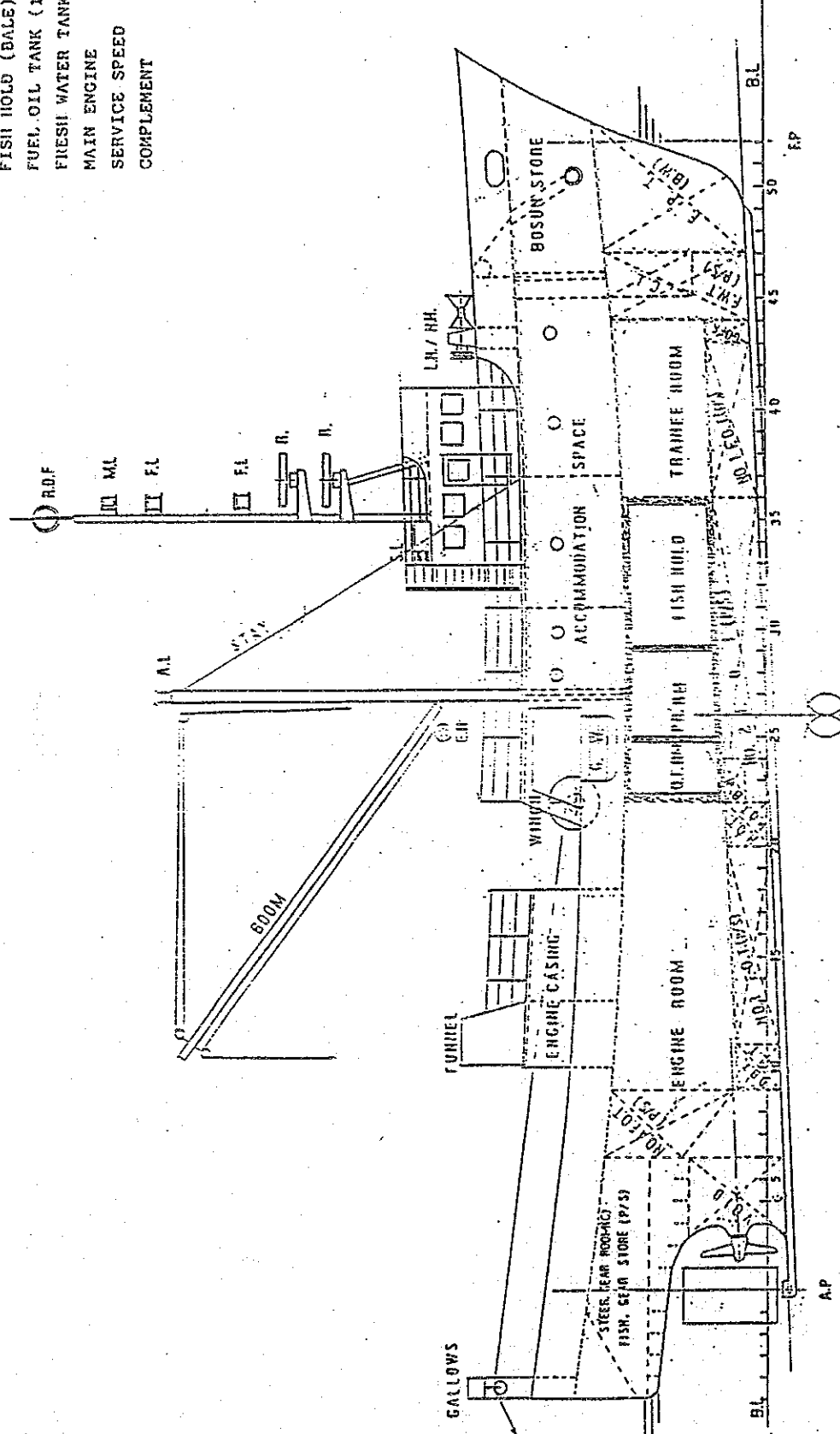
(漁具)

1. トロール網 (2枚網)
2. トロール網 (4枚網)
3. トロール網 (6枚網)
4. 底刺網 (目合200m/m)
5. 底刺網 (目合300m/m)
6. 底延縄
7. 旋網

地中海用・調査・訓練船

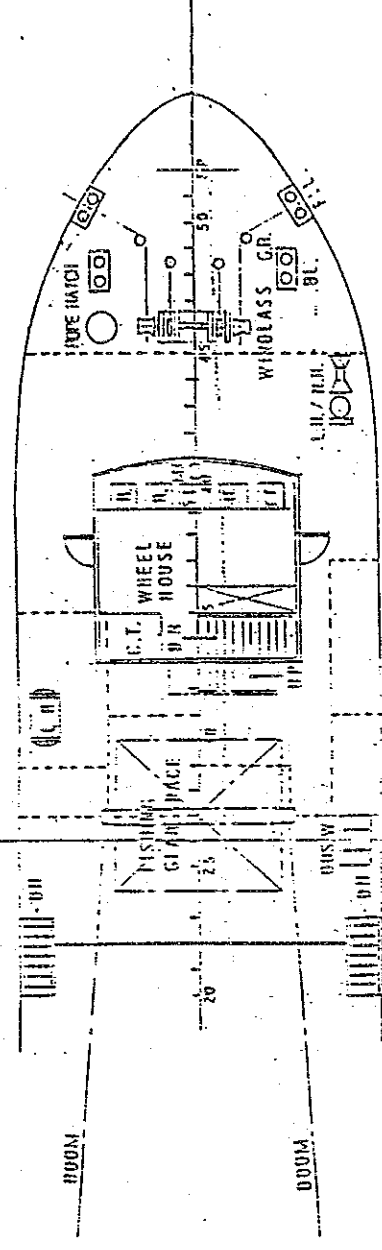
PRINCIPAL PARTICULARS

LENGTH (OA)	abt. 30.00m
LENGTH (BP)	" 26.00m
BREADTH (MLD)	" 7.20m
DEPTH (MLD)	" 3.20m
DRAFT (FULL LOAD)	" 2.80m
FISH HOLD (BALE)	" 40 m ³
FUEL OIL TANK (100%)	" 80 m ³
FRESH WATER TANK (100%)	" 10 m ³
MAIN ENGINE	" 850 PS
SERVICE SPEED	" 10 kts
COMPLEMENT	15 P.

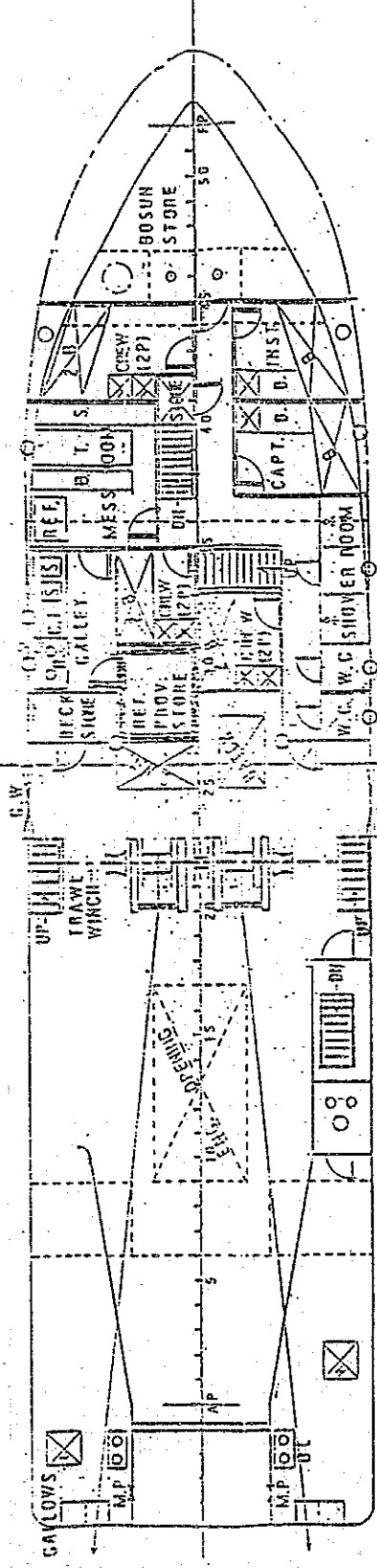


FRAME SPACE 500MM (THROUGH OUT)

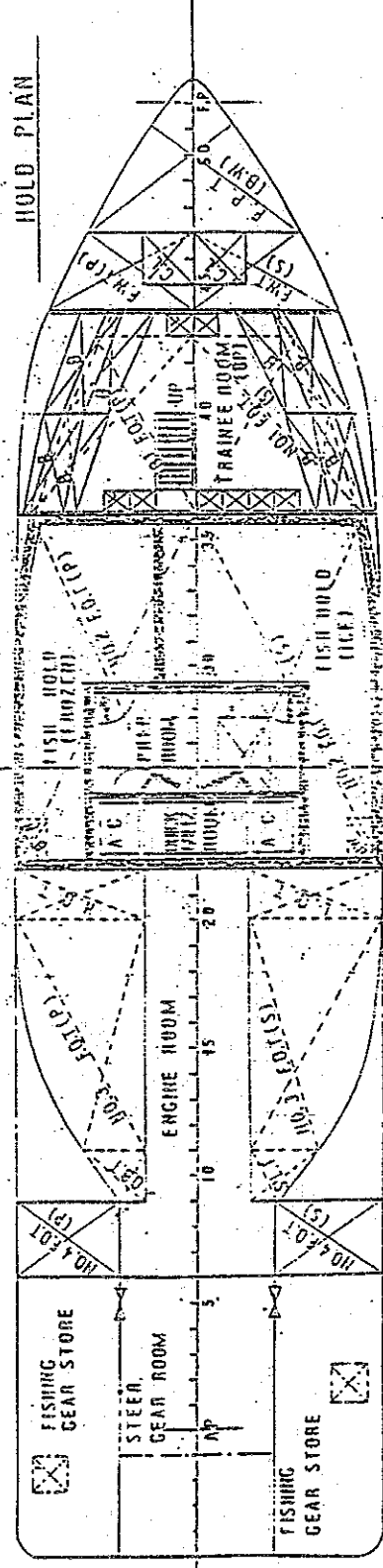
FCLE DECK



UPPER DECK



HOLD PLAN



FOR THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT

GENERAL ARRANGEMENT (TYPE I)

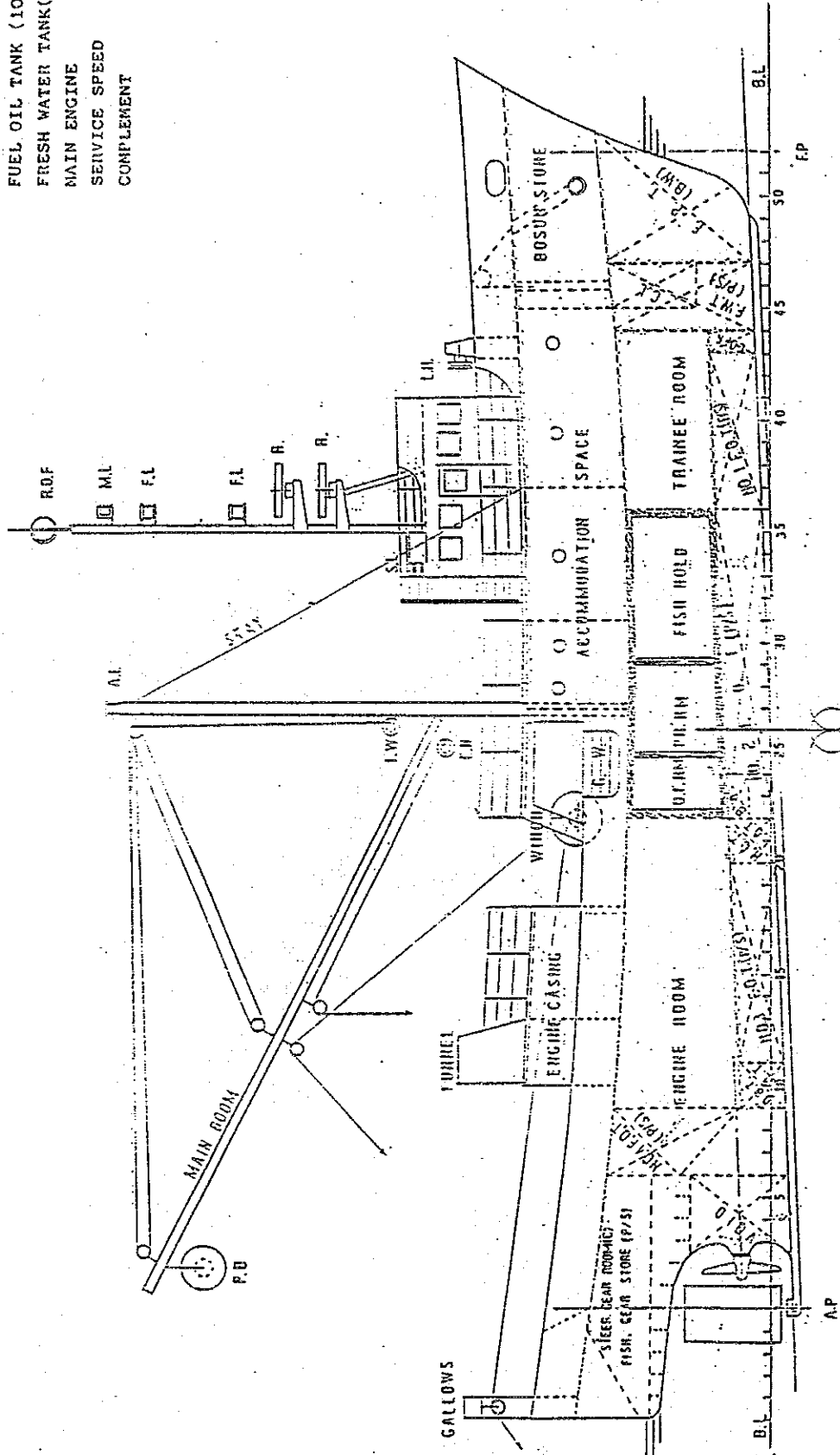
TRAWL, LONG LINE & GILL NET FOR THE MEDITERRANEAN SEA

SCALE 1 : 200

紅海用・調査・訓練船

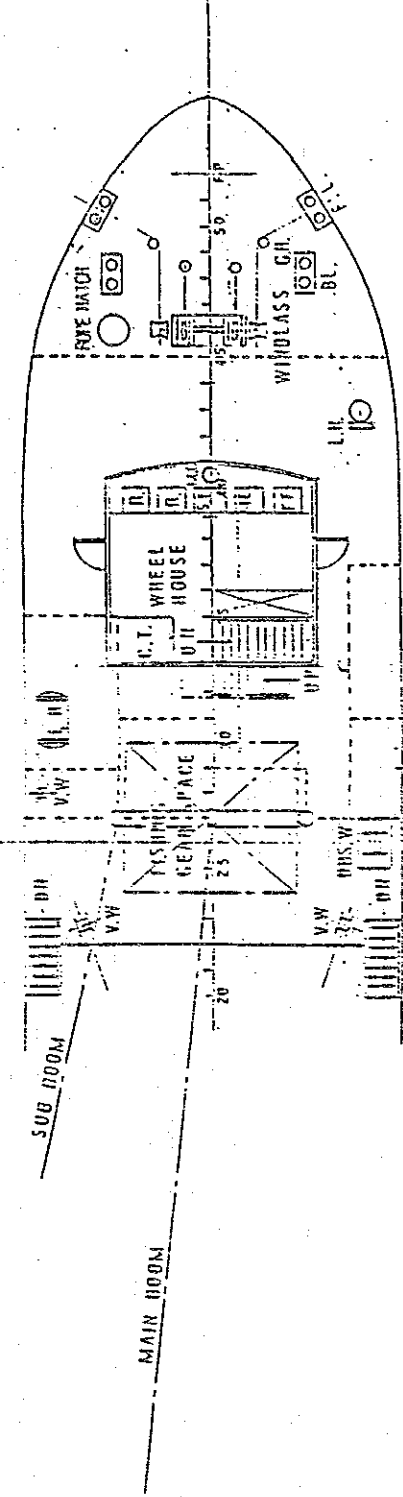
PRINCIPAL PARTICULARS

LENGTH (OA)	abt. 30.00m
LENGTH (BP)	" 26.00m
BREADTH (MLD)	" 7.20m
DEPTH (MLD)	" 3.20m
DRAFT (FULL LOAD)	" 2.80m
FISH HOLD (BALE)	" 40 m ³
FUEL OIL TANK (100%)	" 80 m ³
FRESH WATER TANK(100%)	" 10 m ³
MAIN ENGINE	" 850 PS
SERVICE SPEED	" 10 kts
COMPLEMENT	15 P.

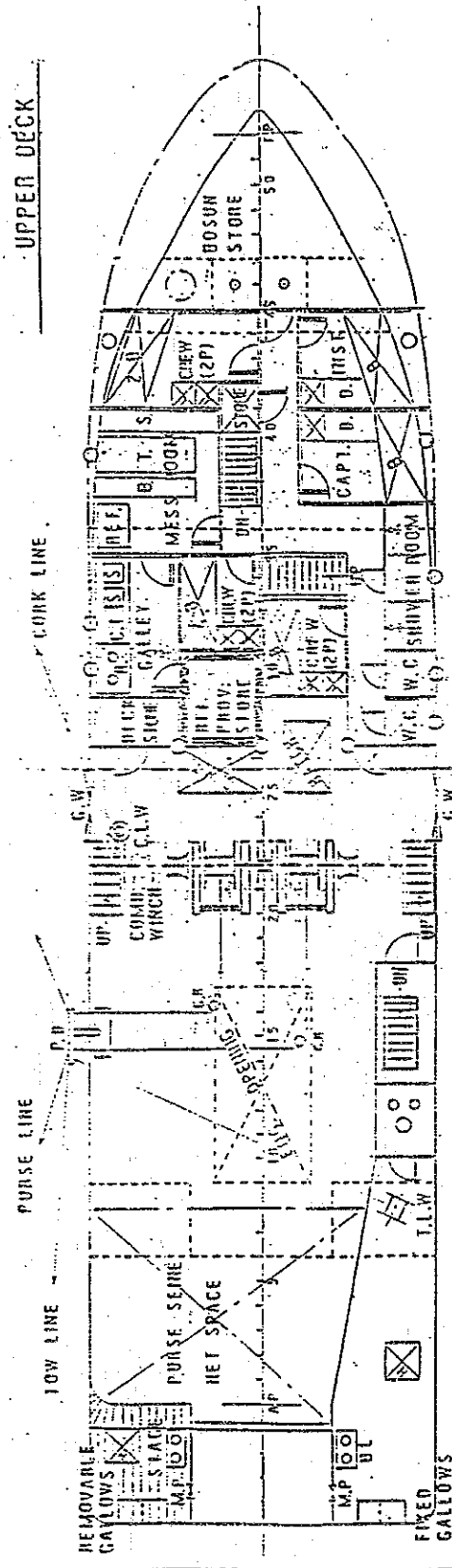


FRAME SPACE 50MM (THROUGH OUT)

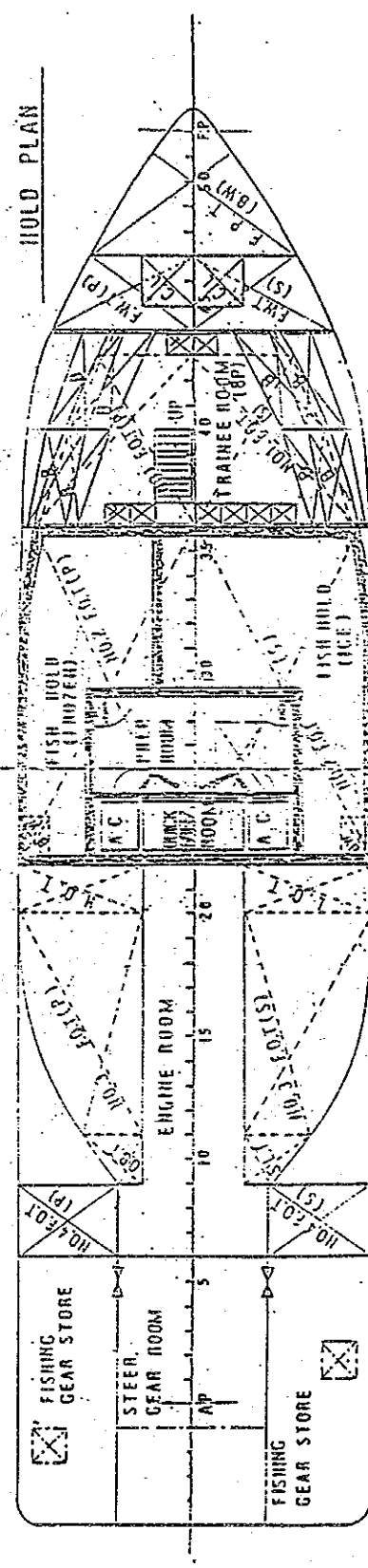
SOLE DECK



UPPER DECK



HOLD PLAN



FOR THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT

GENERAL ARRANGEMENT (TYPE II)

PURSE SEINE, TRAWL & LONG LINE FOR THE RED SEA

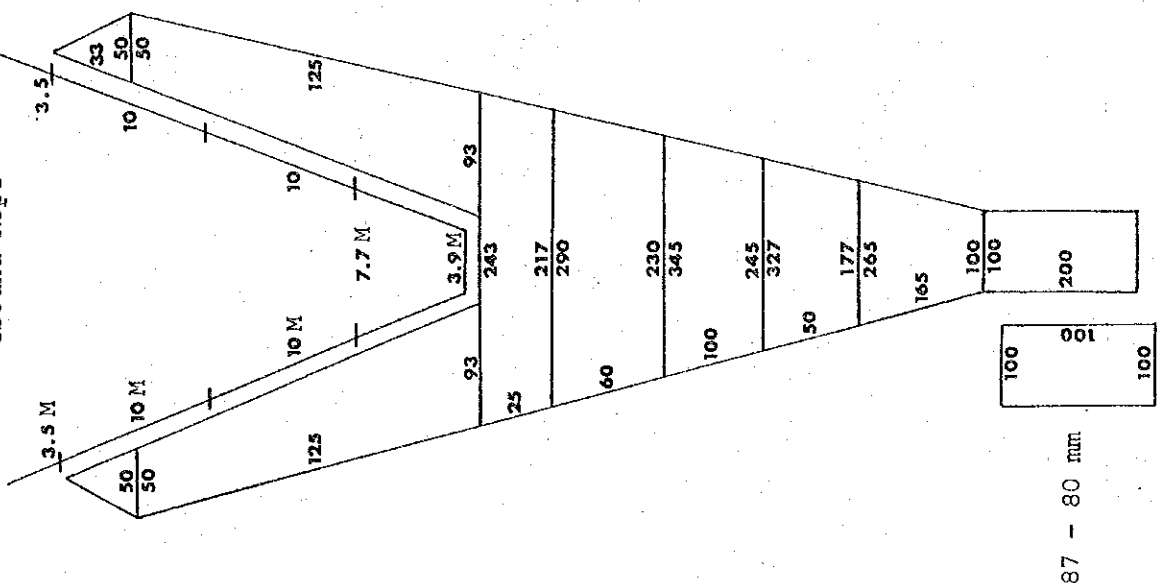
SCALE 1 : 200

ト口一ル網 (2枚網)

Head Rope

Ground Rope

Netting PE. 360D
HR. Vinylon
S.W.R. 14 m/m

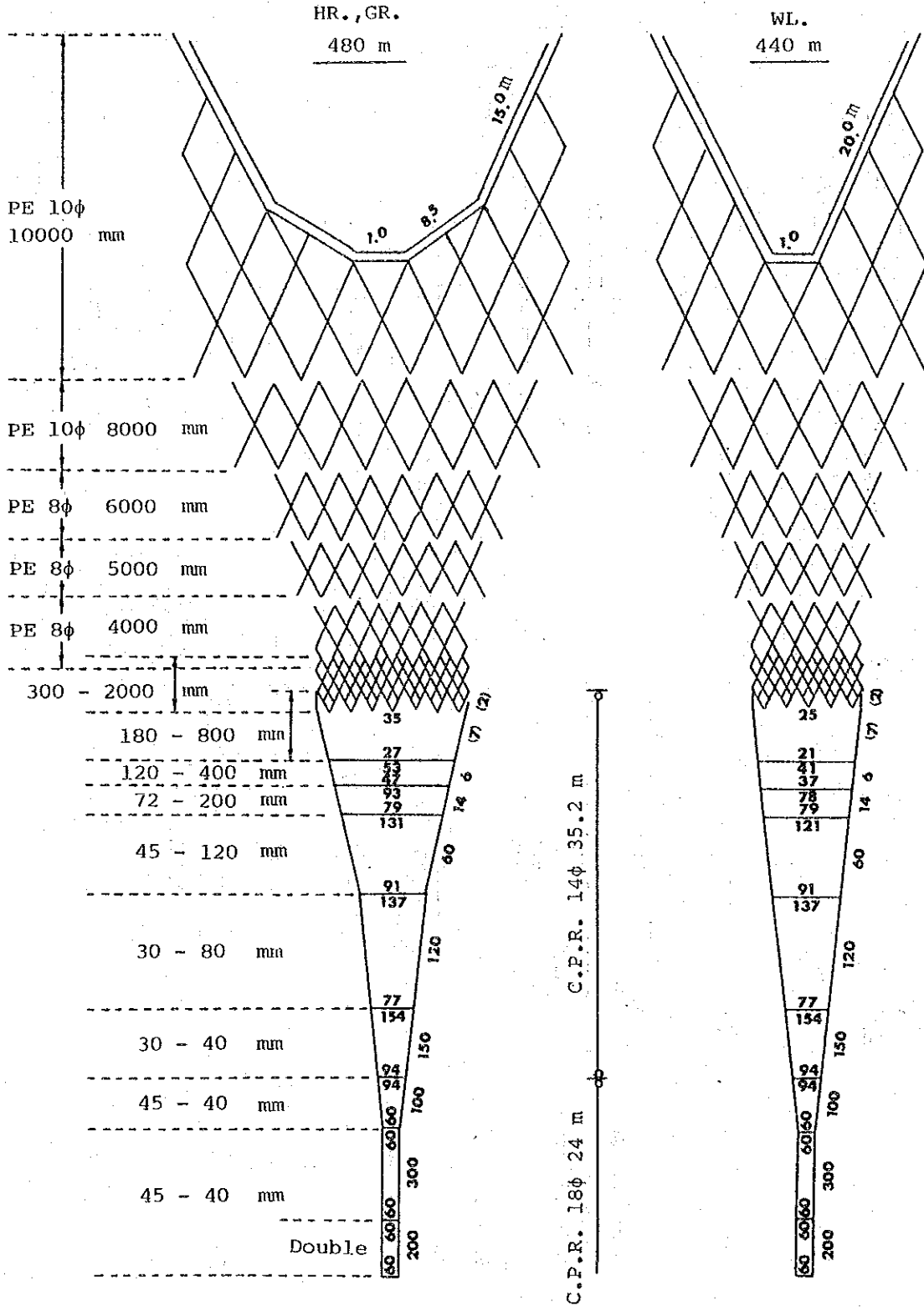


- 72 - 160 mm
- 72 - 160 mm
- 72 - 160 mm
- 60 - 120 mm
- 45 - 80 mm
- 45 - 60 mm
- 45 - 40 mm
- 60 - 40 mm

- 150 - 160 mm
- 150 - 160 mm
- 60 - 120 mm
- 45 - 80 mm
- 45 - 60 mm
- 45 - 40 mm
- 60 - 40 mm

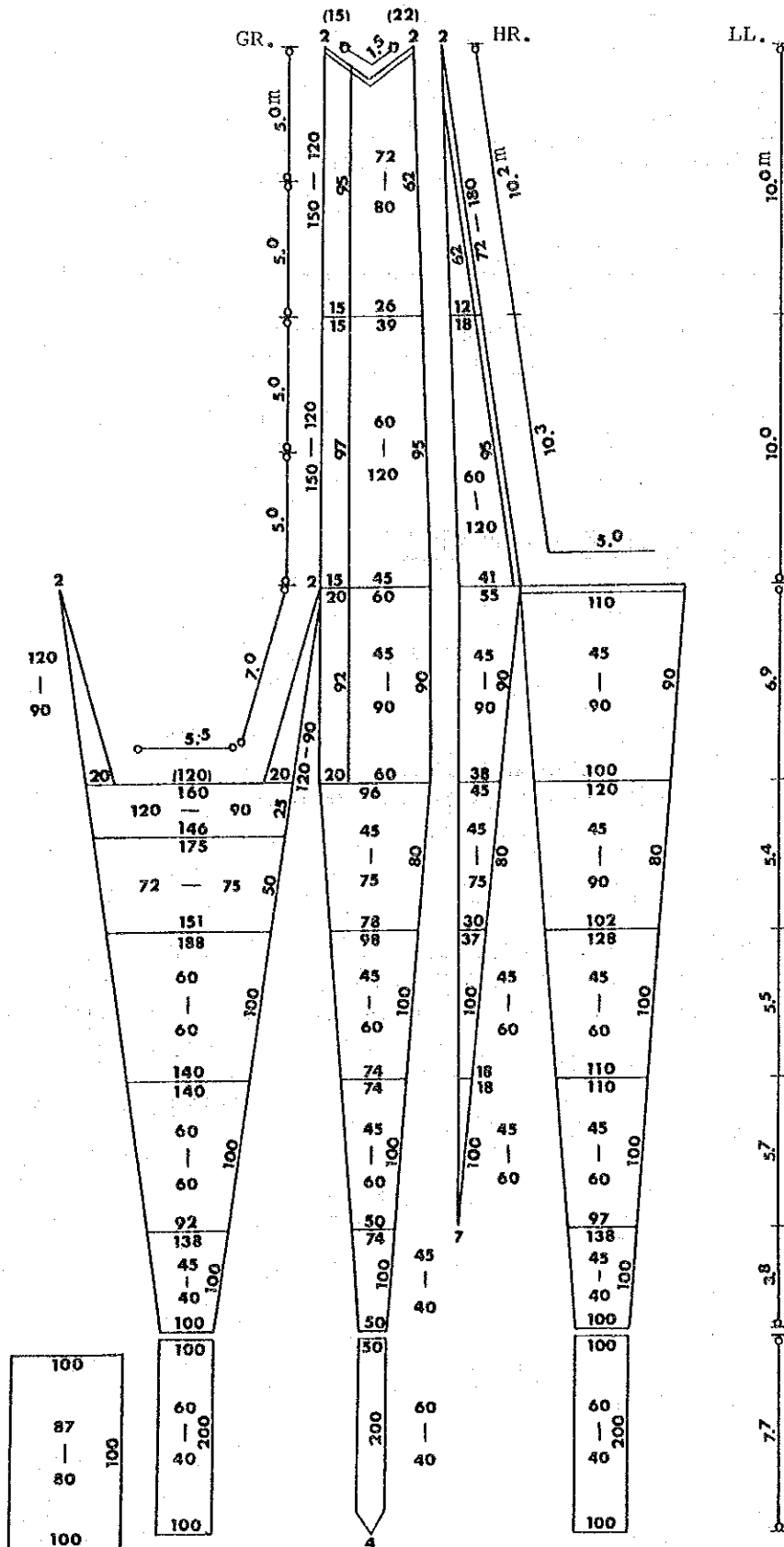
トロール網 (4枚網)

HR. S.W.R. 14 φ
 GR. S.W.R. 14 φ
 Wing Line S.W.R. 14 φ
 NET PE.360^D



トロール網 (6枚網)

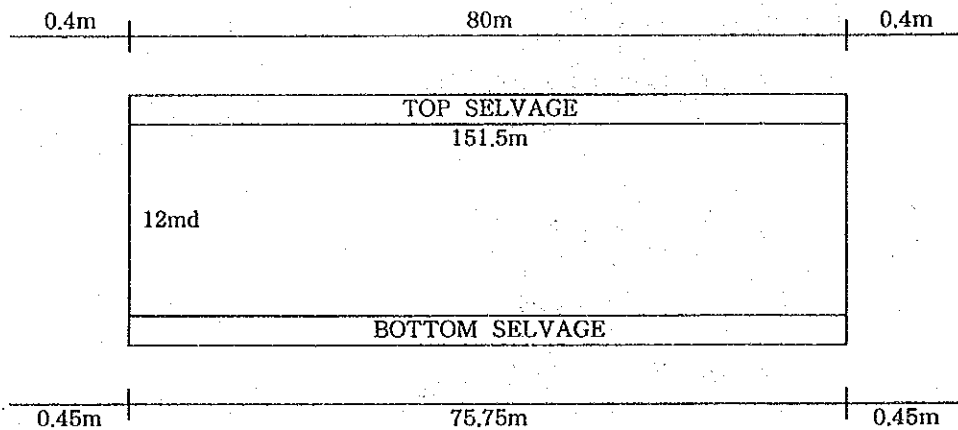
Netting
Polyethylene 360^D



- HR.
Vinyon S.W.R.
14 mm
 - LL.
Vinyon C.P.R.
18 mm
 - WL.
Vinyon S.W.R.
14 mm
 - FL.
Poly-Vinyon R.
18 mm
 - MR.
Vinyon C.P.R.
20 mm
 - BR.
Polyethylen R.
18 mm
- 3.0 m X 5 Pcs

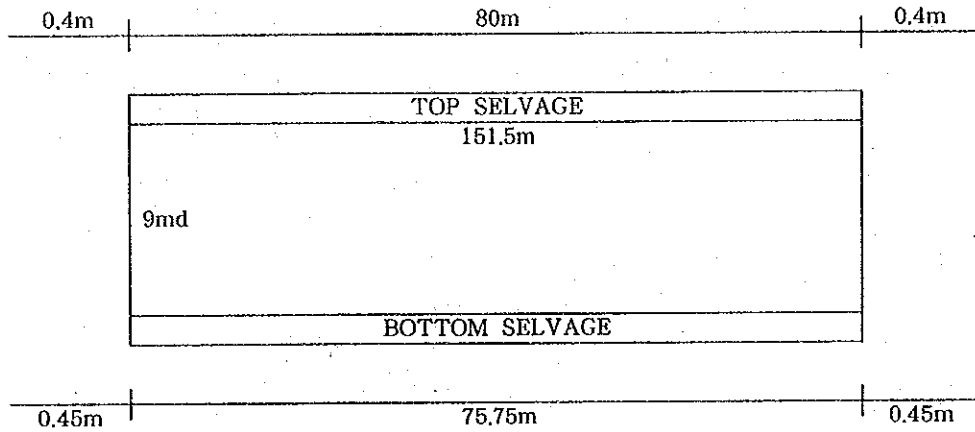
Total Length 55.0 m

底 延 繩
(目合 200m/m)



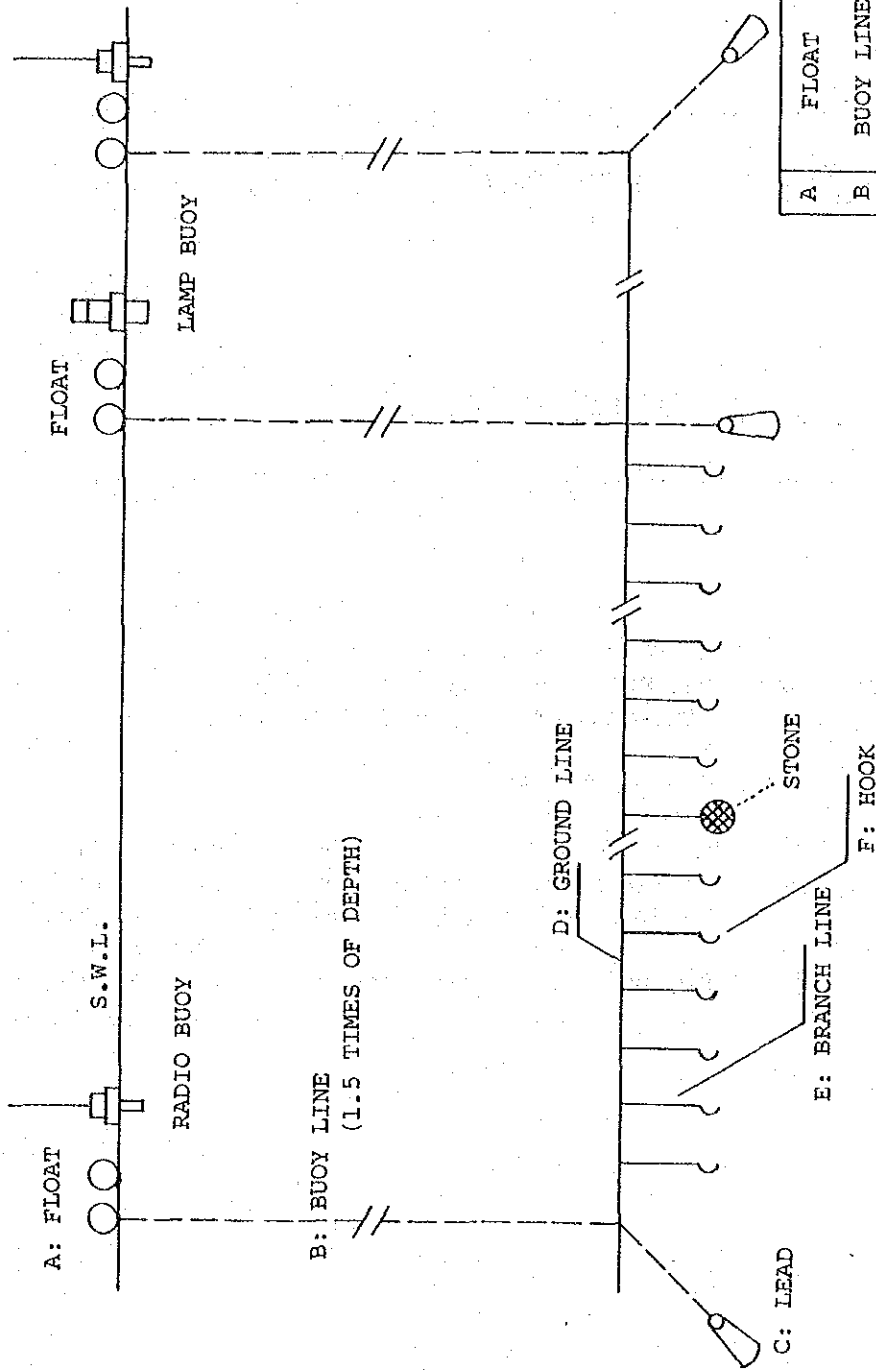
- NETTING : NYLON 210D 3/21 200m/m str.
- TOP & BOTTOM SELVAGE : NYLON 210D 3/36 0.5 mesh (retwisted)
NYLON 210D 3/30 0.5 mesh (retwisted)
- FLOAT : C - 53 BUOYANCY 170 g/pc 16 pcs
- FLOATLINE : P.P. 6m/m dia. each end 0.4m flying S-twisted 80.8m 1 pc
P.P. 6m/m dia. each end 0.4m flying Z-twisted 80.8m 1 pc
- SINKERLINE : P.P. 10m/m dia. 100g/m lead core each end 0.45m flying
S-twisted 76.65m 1 pc
P.P. 10m/m dia. 100g/m lead core each end 0.45m flying
Z-twisted 76.65m 1 pc

底 延 繩
(目合 300m/m)



- NETTING : NYLON 210D 3/21 300m/m str.
- TOP & BOTTOM SELVAGE : NYLON 210D 3/36 0.5 mesh (retwisted)
 NYLON 210D 3/30 0.5 mesh (retwisted)
- FLOAT : C - 53 BUOYANCY 170 g/pc 16 pcs
- FLOATLINE : P.P. 6m/m dia. each end 0.4m flying S-twisted 80.8m 1 pc
 P.P. 6m/m dia. each end 0.4m flying Z-twisted 80.8m 1 pc
- SINKERLINE : P.P. 10m/m dia. 100g/m lead core each end 0.45m flying
 S-twisted 76.65m 1 pc
 P.P. 10m/m dia. 100g/m lead core each end 0.45m flying
 Z-twisted 76.65m 1 pc

底延繩



A	FLOAT	DIA: 300 mm
B	BUOY LINE	DIA: 10 mm
C	LEAD SINKER	15 kg
D	GROUND ROPE	DIA: 12 mm
E	BRANCH LINE	DIA: abt. 10 mm
F	HOOK	

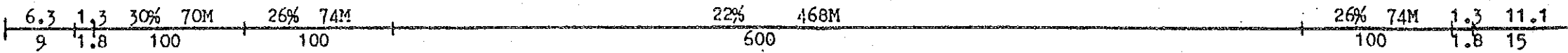
旋 網

APP. DIM. : 706 M x 103 M (550 M x 84 M)

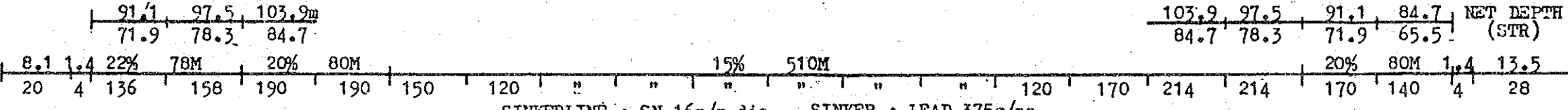
TOTAL FLOATLINE LENGTH 706.0M(550.0M)

FLOATLINE : PP 16m/m dia. & 14m/m dia.
 FLOAT : K - 7N

NET LENGTH(STR) : 50M x 18SEC
 NET COLOR : DYED BROWN

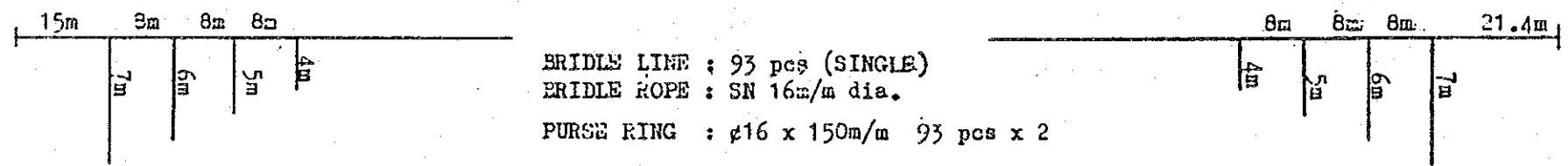


	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
PE 200	90m/m 2md x 900m																		
N 3/60	38m/m 20md x 900m																		
N 3/9	16m/m 200md x 50m 16 pcs																		
N3/12	N3/12	N3/9	N3/6	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	N3/6	N3/9	N3/90
16m/m	16m/m	16m/m	16m/m	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	16m/m	16m/m	90m/m 20md x 60m
400md	400md	400md	400md	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	400md	400md	45m
50m	50m	50m	50m	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	50m	50m	PE
7 pcs	7 pcs	400md	400md	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	400md	400md	
		50m	50m	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	50m	50m	
N3/9	N3/9																		
16m/m	16m/m																		
400md	400md																		
(3)		15 pcs	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	15 pcs				
6 pcs	7 pcs	(3)													(3)				
N12 16m/m 200																			
N 3/9	16m/m 200md x 50m 16 pcs																		
N 3/60	38m/m 20md x 900m																		
PE 200	90m/m 2md x 900m																		



SINKERLINE : SN 16m/m dia. SINKER : LEAD 375g/pc

TOTAL SINKERLINE LENGTH 772.4M(602.4M)



4-4 施工計画

4-4-1 施工方針

2隻の調査・訓練船は、同型船による経済的効果、品質の均一化、施工監理の容易性の観点より同一造船所で建造されるべきである。

また付属の漁具、予備品等も造船所に一括して発注することが望ましい。

4-4-2 施工監理計画

実施コンサルタントは相手国実施機関に代わり次のような施工監理を行う。

基本計画打合せ

基本図及び詳細図の審査及び承認

主要機器の工場・運転立会い

漁具の製造中の監督及び検査

ブロック組立より艀装工事完了までの造船所工事監督

海上運転等の諸試験立会い

完成状態、性能等のチェック

また、日本海事協会(NK)が船体の建造中及び機関部諸機器製造中の検査を行い、船級証書(漁船)を取得させる。

4-4-3 資機材調達計画

使用される資機材は原則として日本製とする。ただし、エジプト国内では日本製機器の予備品の入手が困難なため、主要機器のメーカーに関してはエジプト国内に代理店を有するメーカーを優先的に採用することが考えられる。

4-5 運用・維持管理費用

調査・訓練船導入後の年間維持管理費を地中海、紅海の操業海域別に計算する。

燃油	$850\text{ps} \times 0.15\text{kg/h} / \text{ps} \times 24\text{hr} \times 50\text{L.E.} / 1,000\text{kg} \approx 153\text{L.E.} / \text{日}$
地中海向け	$153\text{L.E.} \times 264 \text{日} / \text{年} \approx 40,000\text{L.E.}$
紅海向け	$153\text{L.E.} \times 217 \text{日} / \text{年} \approx 33,000\text{L.E.}$

潤滑油

燃油×10%

地中海向け 4,000L.E.

紅海向け 3,300L.E.

食料

4L.E./日/人×16人×240日=15,000L.E.(地中海)

4L.E./日/人×16人×217日=14,000L.E.(紅海)

漁具 25,000L.E.

トロール網用

(網地、ワイヤーロープ、ロープ数)10,000L.E.

旋網用

(網地、ロープ数) 14,000L.E.

延縄用

(縄、その他) 1,000L.E.

餌料 500L.E.

2500尾/250尾(C/S)×10回操業=100C/S

5L.E.×100=500L.E.

人件費賃金 船員

400L.E./月/人×8人×12月=38,000L.E.

訓練生

50L.E./月/人×8人×12月=4,800L.E.

奨励金

100L.E./人×16人×12月=19,200L.E.

維持・修理

トロール 22,400L.E. 11,200L.E. × 2 =22,400L.E.

(現地トロール船80トン型実績)

旋網 25,700L.E. 12,850L.E. × 2 =25,700L.E.

(現地旋網船80トン型実績)

予備品

10,000L.E. 5,000L.E. × 2 =10,000L.E.

(現地トロール船80トン型実績)

保険	船体	30,000L.E.
	乗組員	120L.E.×16=1,900L.E.
公租		1,000L.E./年
合計	地中海	<u>229,600L.E.</u>
	紅海	<u>206,400L.E.</u>

以上のように、地中海における操業では、運用・維持管理費 229,600L.E.を必要とし、紅海における操業は 206,400L.E.を必要とする。

第5章 事業評価

第5章 事業評価

5-1 概要

本計画の評価を水産資源調査・訓練船運営の財務評価と波及効果について行なう。

5-2 財務評価

(1) 地中海

1) 運航計画

ポートサイド沖からアレキサンドリア沖を操業。

年間 操業： 10 ヵ月 (10 航海)	1 航海 往復航海： 1 日
修理他： 2 ヵ月	操業： 24 日
計 1 年	水揚、仕込： 5 日
	計 30 日

2) 収入

一航海当り水揚高

$$24 \text{ 日/航海} \times 700 \text{ kg/1 日平均漁獲} \times \text{L.E. } 2.18 \text{ g/kg} \\ = \text{L.E. } 36,624$$

年間10航海 水揚高

$$\text{L.E. } 36,624 \times 10 \text{ 航海} = \text{L.E. } 366,240$$

トロール網の漁獲能力は既存のもの2.3倍、既存船の平均漁獲量は300kg/日であるので $2.3 \times 300 = 700 \text{ kg/日}$ となる。

3) 支出

水産資源調査・訓練船の年間経費から抽出する。

$$\text{L.E. } 229,600$$

4) 収支

年間収入	L.E. 366,240
年間支出	L.E. 229,600
利益	L.E. 136,640

(2) 紅海

1) 運航計画

年間 操業： 10ヵ月 (10航海)	1航海 往復航海： 5日
修理他： 2ヵ月	操業： 20日
計 1年	水揚、仕込： 5日
	計 30日

フォール湾とスーダン沖の沿岸海域を操業

2) 稼働率

旋網操業： 風力3以上になると、旋網の操業は困難になる。旋網漁期の冬を中心とする5ヵ月間は風力3以下の日が70%を占め、風力3以上の日が30%を占める。従って、30%は操業不可能と考えられる。

トロール・延縄操業：

漁期は夏を中心とする5ヵ月間であるが、この期間は風力5を超える日は25%である。200トン以下のトロール船は風力5以上は操業不可能となるので稼働率は75%と考えられる。

3) 収入

1 航海当り水揚高

旋網操業 $20日/航海 \times 0.7 \times 4,000kg^{1)} \times L.E.0.5/kg$
=L.E.28,000

トロール、延縄操業 $20日/航海 \times 0.75 \times 500kg^{2)} \times L.E.2.18/kg$
=L.E.16,350

計L.E.44,350

- ① 旋網漁具の規模は、既存の網の包囲面積の約2倍であるので、漁獲能力は既存網の2倍と考えられる。既存網による漁獲量は平均して1日2トンであるので、 $2 \times 2 = 4$ トンとした。
- ② 漁具設計条件で示した漁場効率と、地中海における1日平均漁獲量を勘案すると、紅海の1日平均漁獲量は

$$700\text{kg} \times 0.7 \approx 500\text{kg}$$

年間の水揚高

L.E. 36,350 × 5 航海

L.E. 221,750

4) 支出

水産資源調査・訓練船の年間経費から抽出する

L.E. 206,400

5) 収支

年間収入 L.E. 221,750

年間支出 L.E. 206,400

利益 L.E. 15,350

以上の結果から、本計画の運営は黒字となるが、減価償却費や一般管理費は算入されていない。このことは一層の開発努力をほらう必要があることを示している。

5-3 計画の効果

本計画実施による効果は、次のものがあげられる。

(1) 未開発資源の調査・開発

エジプト国の魚類供給量は、需要に対し不足分が多く、未開発資源の利用はエジプト国の重要な方針の一つである。地中海の底魚資源調査と開発、並びに紅海の浮魚及び底魚資源の調査と開発は国策にそうものであり、遅れている海洋漁業の拡大を通じエジプト国の水産業振興に大いに寄与するものと考えられる。

(2) 訓練計画実施による訓練生の養成

漁船の急激な増加は漁船員不足の現状を引き起こしているが、訓練計画に基づいて乗船訓練が実施されれば、エジプト国の漁業技術の向上に寄与する所大であり、新漁場への進出と相まって雇用機会の増加になると考えられる。

(4) 漁業の技術・技能の移転

水産学校訓練施設が古くて、伝統的な技術の習得の域を出ていない。本計画が実施され適切な訓練が実施されれば、新技術・新技能の移転となり、伝統的エジプト国漁業の改善に貢献するところ大であると考えられる。

(5) 魚の取扱方法の改善

カイロ等大都市の魚市場で販売されている魚の鮮度は、かなり程度が悪い。冷凍魚を主体とする鮮度保持の知識、経験を持った者を養成することは、エジプト国の魚類の取扱方の改善に、ひいては漁獲物の付加価値の増大に貢献することが期待出来る。

(6) エジプト経済への波及効果

本計画の実施により、新漁場の開発を通じて海洋漁業の沖合化を促進し、漁獲量の増加と供給量の増加が期待出来る。

漁獲量の増加は、動物性蛋白質の自給率を高めるとともに、水産物の輸入量を減少させ、外貨の節約に貢献することが期待される。

第6章 結論と提言

第6章 結論と提言

6-1 結論

エジプト国の要請にもとづき約30m級水産資源調査・訓練船2隻が地中海及び紅海に夫々1隻ずつ配属され、実施機関EFFECの適切な管理運営のもと本計画が実行に移されれば、新漁場開発、適切な漁具・漁法開発／訓練に成果があげられる。

EFFECは、かつての遠洋漁業経験者による調査・訓練船の操船が可能であり、自社トロール・旋網漁船運用のための維持管理体制が整い、新設スリップウェイ（スエズ）が利用可能となるので、調査・訓練船の管理運営には問題なく、同必要経費についても国の予算措置が図られており問題はない。

一方、国家開発計画にも漁船団の増強も計画されているので、調査・訓練船の成果が適用されれば、現在飽和状態にある両海の沿岸漁業から沖合漁業への進出を可能にし海洋漁業における漁獲量の増大が促進できる。その結果、動物性蛋白質供給量の増加、漁業者への収入増、雇用の改善が期待される。従って、本計画に対し日本国政府の無償資金協力を実施する意義は大きい。

6-2 提言

(1) 交換公文の批准

交換公文署名後、エジプト側は人民議会（National People's Assembly=NPA）の承認を必要とする。この承認取付の遅速が本計画の工程を大きく左右するので、本計画の完成を工期内に達成するため、エジプト国政府は工事工程表に従い完了出来るよう、迅速に対応することが望まれる。

(2) 予備品の調達

同会社によれば、日本製の船用機械（特に主機関）は、現地代理店に予備品の在庫がなくその都度、日本から取り寄せるため非常に時間がかかり運航に支障をきたすというものであった。従って、予備品については、消耗品2年分のほか、少なくとも2回分のオーバーホールに必要な部品を全部カバーすることとしたが、その後は使用した予備品を相手方で補充していく必要があるため、計画的な予備品調達体制を確立する必要がある。

(3) 今後の漁業振興方策

今後必要とされる漁業振興方策として考えられるものは、漁獲物処理、加工、運搬、流通に関する施設、機能の改善、開発である。これらの施策が実現すれば、現在の漁獲物に一層の付加価値を増大させることになり、輸出の振興にもつながる。また、国家開発計画に唱われている漁船団増強の計画が早く具体化して、本計画の成果が活用されることが望まれる。

(4) 技術協力

現在EFFECには、大型遠洋漁船の操船及び運航に経験ある乗組員を確保しているが、本計画で導入予定の調査・訓練船の操業及び運航指導について、専門家派遣による日本の技術協力も要請している。

本計画の機材は、エジプト漁業者の技術レベルを考慮しており、調査・訓練船についても、EFFEC職員のみで運航可能なものである。しかし、近代的漁法による新漁場の開発及び調査・訓練船の運航計画立案等の運営管理面の強化は必要である。従って、無償資金協力とあわせ技術協力が実施されれば、本計画のより一層の効果が期待出来る。

添 付 資 料

(1) 調査団員構成

1. 島村 正明 (総括)

農林水産省水産庁海洋漁業部漁船課課長補佐

2. 西村 正裕 (計画管理)

国際協力事業団

八王子国際研修センター

3. 加藤 正泰 (水産資源開発計画)

大洋漁業株式会社

4. 樋口 栄二 (漁具漁法)

大洋漁業株式会社

5. 細沼 敏夫 (船体設計)

大洋漁業株式会社

(2) 面談者リスト

① エジプト漁業・漁具公社

Prof. Dr. Farouk El Gayar	会長
Prof. Dr. M. A. Shama	技術顧問(アレキサンドリア大学、造船科教授)
Mr. Adel Mohsen	事業部長
Mr. Essam El Den Sabry	海洋漁業部長
Mr. Riad Koura	漁撈技術専門家
Mr. Mohamed Abdel Aziz	技術顧問(ザガジグ大学、冷凍空調科教授)

② 漁業資源開発総局

Mr. Ibrahim Ettewa	局長
Mr. Wagdy Ahmed Hafery	部長
Mr. Magdy Abbas Salem	生物学者

③ 農業食糧安全省

Mr. Mohamed Mahmoud Dessioke	次官
Mr. Mautf Abdel Aleen	アグロノミスト

④ 計画・国際協力省

Mr. Hamed Moustafa	アジア局長
Mr. Mohsen Mohamed Sadek	(経済調査担当)
Mis. Samya Hassan Kamal	(経済調査担当)

⑤ 日本大使館

山田 順三	公使
安村 広宣	書記官
高嶺 彰	書記官

⑥ JICA エジプト事務所

橋本 明彦 所長

小森 毅 所員

(3) 日程表

(基本設計調査)

No.	日	曜	移 動		行 動
			自	至	
1	4/7	火	成田	バンコック	出発便遅延の為バンコック一泊
2	4/8	水	バンコック		
3	4/9	木		カイロ	MOPIC、MOAFS、GAFRD、大使館、JICA 事務所へ、インセプションレポート説明
4	4/10	金	カイロ	アレキサンドリア	移動
5	4/11	土			EFFECにインセプションレポート説明、
6	4/12	日			アレキサンドリア漁港及び付帯施設調査
7	4/13	月	アレキサンドリア	スエズ	養殖場調査、EFFECとの討議
8	4/14	火	スエズ	アレキサンドリア	スエズ漁港及び付帯施設調査
9	4/15	水			アレキサンドリア、魚市場調査
10	4/16	木			ミニッツに関する討議
11	4/17	金			ミニッツ署名
12	4/18	土	アレキサンドリア	カイロ	資料整理、現地施設調査
13	4/19	日			アレキサンドリア水産高校調査
14	4/20	月			MOPIC、MOAFS、大使館、JICA 事務所へ報告
15	4/21	火			資料整理
16	4/22	水	④カイロ	フルガダ	カイロ市場調査
17	4/23	木	⑤カイロ	アレキサンドリア	官側帰国、関係省庁より資料収集
18	4/24	金	⑥アレキサンドリア	カイロ	③フルガダ漁港及び付帯施設調査
19	4/25	土	④フルガダ	カイロ	(加藤、細沼)
20	4/26	日	カイロ		⑥アレキサンドリアで補足資料収集(樋口)
21	4/27	月		成田	移動
					資料整理
					出発
					帰国

(注) MOPIC: 計画・国際協力省
MOAFS: 農業食糧安全省
GAFRD: 漁業資源開発総局

(ドラフト・レポート説明)

NO.	日	曜	移 動		行 動
			自	至	
1	6/26	金	成田		出発
2	6/27	土		カイロ、	JICA 事務所
3	6/28	日		アレキサンドリア	EFFCEにドラフトレポート提出
4	6/29	月		アレキサンドリア	EFFECにドラフト・レポート説明
5	6/30	火	アレキサンドリア	カイロ	同上
6	7/1	水			ミニッツ署名
7	7/2	木			資料整理
8	7/3	金	カイロ		MOPIC、大使館、JICA 事務所へ報告
9	7/4	土		成田	出発
					帰国

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT FOR FISHERIES EXPLOITATION IN
THE MEDITERRANEAN AND RED SEAS
IN
THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT

IN RESPONSE TO THE REQUEST OF THE GOVERNMENT OF THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT, THE GOVERNMENT OF JAPAN DECIDED TO CONDUCT A BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR FISHERIES EXPLOITATION IN THE MEDITERRANEAN AND RED SEAS AND ENTRUSTED THE STUDY TO THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA). JICA SENT TO EGYPT THE STUDY TEAM HEADED BY MR. MASAOKI SHIMAMURA, DEPUTY-DIRECTOR, FISHING BOAT DIVISION, FISHERIES AGENCY, MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES FROM APRIL 7th TO APRIL 27th, 1987.

THE TEAM HAD A SERIES OF DISCUSSIONS ON THE PROJECT WITH THE OFFICIALS CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT HEADED BY PROF. DR. FAROUK EL GAYAR CHAIRMAN OF THE EGYPTIAN FISHING AND FISHING EQUIPMENT COMPANY, 53 HORREYA ST., ALEXANDRIA, EGYPT, AND CONDUCTED A FIELD SURVEY IN ALEXANDRIA, SUEZ AND URGHADA AREAS.

AS A RESULT OF THE STUDY BOTH PARTIES AGREED TO RECOMMEND TO THEIR RESPECTIVE GOVERNMENTS THAT THE MAJOR POINTS OF UNDERSTANDING REACHED BETWEEN THEM, ATTACHED HEREWITH, SHOULD BE EXAMINED TOWARDS THE REALIZATION OF THE PROJECT.

16th APRIL, 1987

M. Shimamura

MASAOKI SHIMAMURA
TEAM LEADER
BASIC DESIGN TEAM FOR
FISHERIES EXPLOITATION PROJECT,
DEPUTY DIRECTOR, FISHING
BOAT DIVISION, FISHERIES
AGENCY, MINISTRY OF
AGRICULTURE, FORESTRY
AND FISHERIES.

F. El-Gayar

PROF. DR. FAROUK EL GAYAR
CHAIRMAN AND HEAD OF EGYPTIAN
TEAM.
EGYPTIAN FISHING AND FISHING
EQUIPMENT COMPANY, 53 HORREYA
ST., ALEXANDRIA, EGYPT.
TEL: 4911464 - 4917947
TLX: 54148 SAFINA UN
54649 MODAT UN

ATTACHMENT

1) THE OBJECTIVE OF THE PROJECT

THE OBJECTIVE OF THE PROJECT IS TO EXPLOIT NEW FISHING GROUNDS IN THE MEDITERRANEAN AND RED SEAS, WITH DEVELOPING THE PROPER FISHING GEAR AND METHODS TO BE USED, TRAIN LOCAL FISHERMEN WITH MODERNIZED FISHING TECHNOLOGIES, AND DEVELOP COMMERCIAL-TYPE FISHING IN EGYPT.

2) EXECUTING ORGANIZATION

THE EGYPTIAN FISHING AND FISHING EQUIPMENT CO. (EFFEC) IS RESPONSIBLE FOR THE IMPLEMENTATION OF THE PROJECT.

3) REQUEST OF THE GOVERNMENT OF EGYPT

THE TEAM WILL CONVEY THE REQUEST OF THE GOVERNMENT OF EGYPT TO THE GOVERNMENT OF JAPAN THAT THE LATTER WILL TAKE THE NECESSARY MEASURES TO COOPERATE BY PROVIDING THE EQUIPMENT LISTED IN ANNEX I WITHIN THE SCOPE OF THE JAPAN'S GRANT AID PROGRAMME.

4) THE GOVERNMENT OF EGYPT WILL TAKE THE NECESSARY MEASURES LISTED IN ANNEX II ON CONDITION THAT THE GRANT AID OF THE GOVERNMENT OF JAPAN SHOULD BE EXTENDED TO THE PROJECT.

5) THE EGYPTIAN SIDE (THE GOVERNMENT OF EGYPT) HAS UNDERSTOOD THE JAPAN'S GRANT AID SYSTEM, EXPLAINED BY THE TEAM, WHICH INCLUDES A PRINCIPLE OF THE USE OF A JAPANESE CONSULTANT AND A JAPANESE FIRM FOR THE EXECUTION OF THE PROJECT.

6) THE TENTATIVE IMPLEMENTATION SCHEDULE, TO BE REALIZED ON CONDITION THAT THE GRANT AID PROVIDED BY THE GOVERNMENT OF JAPAN SHOULD BE EXTENDED TO THE PROJECT, IS AS SHOWN ON THE ATTACHED SHEET (ANNEX III).

7) EFFEC ASSURED THAT ALL THE NECESSARY PROCEDURES FOR THE APPROVAL BY THE NATIONAL PEOPLE'S ASSEMBLY OF EGYPT SHALL BE CARRIED OUT BEFORE THE OPENING OF THE ASSEMBLY, IN ORDER THAT THE EXCHANGE OF NOTES ON THE PROJECT WILL BE APPROVED BY N.P.A. WITHIN TWO MONTHS AFTER THE OPENING OF THE ASSEMBLY.

8) THE EGYPTIAN SIDE WILL ASSURE THE NECESSARY BUDGET (FROM FISCAL YEAR 1988/89) FOR OPERATION AND MAINTENANCE OF THE EQUIPMENT PROVIDED, ON CONDITION THAT THE GRANT AID OF THE GOVERNMENT OF JAPAN SHOULD BE EXTENDED TO THE PROJECT.

ANNEX I

EQUIPMENT REQUESTED BY THE GOVERNMENT OF EGYPT:

(1) 30 M-TYPE FISHERIES RESOURCES SURVEY/TRAINING VESSEL: 2

(i) TRAWLER/LONG LINER/GILL NETTER

(ii) PURSE SEINER/TRAWLER/LONG LINER

(2) FISHING GEAR

TRAWL NETS

PURSE SEINE NETS

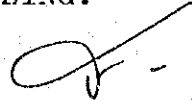
LONG LINE SETS

GILL NETS

OTHERS

(3) SPARE PARTS & MEANS FOR FISH HANDLING.

M.P.

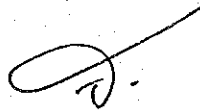


ANNEX II

NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF EGYPT.

- 1) TO PROMPT UNLOADING AND/OR CUSTOM CLEARANCE IN THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT OF PROVIDED EQUIPMENT.
- 2) TO SECURE WITH RESPECT TO THE SUPPLY OF THE EQUIPMENT AND SERVICES UNDER THE VERIFIED CONTRACTS THAT JAPANESE NATIONALS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY CUSTOM DUTIES, INTERNAL TAXES AND OTHER FISCAL LEVIES WHICH MAY BE ENFORCED IN THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT IN ACCORDANCE WITH THE LAW AND REGULATIONS CONCERNED OF EGYPT.
- 3) TO ACCORD JAPANESE NATIONALS WHOSE SERVICES MAY BE REQUIRED IN CONNECTION WITH THE SUPPLY OF THE EQUIPMENT AND THE SERVICES UNDER THE VERIFIED CONTRACT SUCH FACILITIES AS MAY BE NECESSARY FOR THEIR ENTRY INTO THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT AND STAY THEREIN FOR PERFORMANCE OF THEIR WORK.
- 4) TO MAINTAIN AND USE PROPERLY AND EFFECTIVELY THE EQUIPMENT PURCHASED UNDER THE GRANT.
- 5) TO BEAR ALL THE EXPENSES OTHER THAN THOSE TO BE BORNE BY THE GRANT, NECESSARY FOR THE EQUIPMENT.

M.S



Tentative Implementation Schedule

No. of Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Exchange of Notes	△																
Approval by N.P.A.	◎																
Consulting Contract		△															
D/D & Tender Doc.			■														
Tender Announcement				△													
Tender Opening					△												
Construction Contract						△											
Construction Period							■										
Transportation (arrival)													■				
Trial (run & operation)														△			
D e l i v e r y																△	

M.S - 81 -

(Remarks E/N Oct.1987) D/D means : Detailed Design

APPENDIX

LENGTH OVERALL	abt. 30 m
LBP	abt. 24 m
BREADTH	abt. 7.2 m
DEPTH	abt. 3.2 m
ENGINE POWER	abt. 850 PS
SPEED, TRIAL	abt. 10.5 knot
ENDURANCE	abt. 20 DAYS
FISH HOLD	abt. 50 m ³
FREEZING CAPACITY	abt. 2 TONS/DAY
FUEL OIL TANK	abt. 80 m ³
FRESHWATER TANK	abt. 15 m ³
CREW	8
TRAINEE STUDENTS	8

M. P.

[Signature]

المنظمة المصرية للسيب ومخدراته

«الهيئة العامة للثروة السمكية»

وزارة الزراعة

٢١١٦

١/٢٢/٥

١٧/٤/١٤

مكتب
الاستاذ الدكتور المتوفى

LETTER OF AUTHORIZATION

THIS IS TO AUTHORISE PROF. DR. FAROUK M. H. EL-GAYAR CHAIRMAN OF THE EGYPTIAN FISHING AND FISHING EQUIPMENT COMPANY TO SIGN THE MINUTES OF DISCUSSION BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA) SENT FROM THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE EGYPTIAN EXECUTING ORGANISATION " THE EGYPTIAN FISHING AND FISHING EQUIPMENT COMPANY (EFPEC) FOR THE ESTABLISHMENT OF THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR " FISHERIES EXPLOITATION IN THE MEDITERRANEAN AND RED SEAS " DURING THE PERIOD FROM 7th TO 27th APRIL, 1987.

PROF. DR. YOUSSEF WALLEY

Youssef Walley

VICE PRIME MINISTER AND MINISTER OF AGRICULTURE AND LAND RECLAMATION.




MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT FOR FISHERIES EXPLOITATION IN
THE MEDITERRANEAN AND RED SEAS
IN
THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT

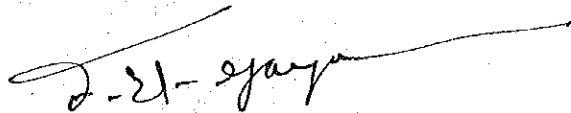
In response to the request of the Government of the Arab Republic of Egypt for Grant Aid for the Project for Fisheries Exploitation in the Mediterranean and Red Seas (hereinafter referred to as " the Project "), the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA). JICA sent to Egypt the team headed by Mr. Masaaki Shimamura, Deputy Director of Fishing Boat division, Oceanic Fisheries Department, Fisheries Agency, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, from April 7th to April 27th, 1987.

As the result of the study, JICA prepared a draft report and dispatched a team to explain and discuss it from June 26th to July 4th, 1987.

Both parties had a series of discussions on the report and agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Alexandria, June 30th, 1987


MASAAKI SHIMAMURA
Team Leader,
Draft Final Report Explanation
Team of Basic Design Study,
Japan International Cooperation
Agency


PROF. DR. FAROUK EL GAYAR
Chairman and Head of Egyptian
Team
Egyptian Fishing and Fishing
Equipment Company

ATTACHMENT

1. The Egyptian side has agreed in principle to the basic design proposed in the Draft Final Report with minor but appropriate alteration as shown in Annex-I mutually agreed upon to be incorporated in the Final Report.
2. The Egyptian side has understood Japan's grant aid system and confirmed that the necessary measures will be taken by the Egyptian side as shown in Annex-II which are manifested in the Annex II of the MINUTES OF DISCUSSIONS on the Project signed on April 16th, 1987, on condition that the grant aid by the Government of Japan would be extended to the Project.
3. The Egyptian Fishing and Fishing Equipment Co. assured that all the necessary procedures for the approval by the National People's Assembly of Egypt shall be carried out before the opening of the Assembly, in order that the Exchange of Notes on the Project will be approved by N.P.A. within two months after the opening of the Assembly.
4. The Egyptian side will assure the necessary budget (from Fiscal Year 1988/89) for operation and maintenance of the equipment provided, on condition that the grant aid of the Government of Japan should be extended to the Project.
5. The Final Report (10 copies in English) will be submitted to the Egyptian side by the end of September, 1987.
6. For technical cooperation, the Team will convey to the Government of Japan the request of the Government of Egypt to dispatch expert to Egypt in the field of fishing operation and marine engineering.

M. P.

J.

ANNEX I

Page	Words/wording	Alteration
1	13th line <u>Development</u>	<u>Exploration</u>
"	6th line from bottom	(Add) (The Egyptian team was headed by Prof. Dr. Farouk El Gayar, Chairman of the EFFEC.)
4	End of 2-2-1	(Add) (Note: All figures were quoted from the Five Year Socioeconomic Development Plan (1983-1987))
9	4th line from bottom <u>three rivers including the Nile</u>	the Nile and its branches
10	Table 2-3-4 <u>other rivers</u>	Inland canals
11	after 8th line	(Add) Port Said harbour (Port Said)
15	3rd line from bottom <u>There are no purseseiners</u>	(delete)
16	6th line from bottom <u>hydraulic</u> winch	mainly mechanical and some hydraulic
17	7th line from bottom <u>hydraulic</u> winch	-do-
37	12th & 13th lines <u>minimum</u>	appropriate
43	3rd line <u>catch rate ratio</u>	fish catch ratio.
56	end of §10 spare parts	(Add) Spare propellers for FPP - solid type 1 set for CPP -- blade 1pc.
60	9th line at 10th line	(Add) (for the Mediterranean) 1 Fixed pitch propeller, 4 blades (for the Red Sea)
"	at 6th line from bottom	(Add) Electric hoist 1... Electric, 0.25 t for cargo handling
61	at 13th line	(Add) -de-
63	6th line <u>8.0mL X 2.0mB X 0.9 mD, 30 PS</u>	6.0 mL, 10 PS

M.S.



63 at 4th line
from bottom

(Add) Spare Parts for main
engine, auxiliary
engine and generator....
for 2 overhauls

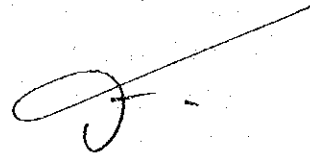
" 3rd line
from bottom for machinery

for other machinery and
equipment

75 10th line (replace 3 lines)

Besides the Consultant's
supervising activities, the
NIPPON KAIJI KYOKAI (NK)
shall conduct necessary
inspections and surveys
throughout hull construction
and the manufacture of
machinery and equipment so
as to obtain the class
certificate " Sea Going Fishing
Vessel "

M. S.



ANNEX II

NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF EGYPT.

- 1) TO PROMPT UNLOADING AND/OR CUSTOM CLEARANCE IN THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT OF PROVIDED EQUIPMENT.
- 2) TO SECURE WITH RESPECT TO THE SUPPLY OF THE EQUIPMENT AND SERVICES UNDER THE VERIFIED CONTRACTS THAT JAPANESE NATIONALS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY CUSTOM DUTIES, INTERNAL TAXES AND OTHER FISCAL LEVIES WHICH MAY BE ENFORCED IN THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT IN ACCORDANCE WITH THE LAW AND REGULATIONS CONCERNED OF EGYPT.
- 3) TO ACCORD JAPANESE NATIONALS WHOSE SERVICES MAY BE REQUIRED IN CONNECTION WITH THE SUPPLY OF THE EQUIPMENT AND THE SERVICES UNDER THE VERIFIED CONTRACT SUCH FACILITIES AS MAY BE NECESSARY FOR THEIR ENTRY INTO THE ARAB REPUBLIC OF EGYPT AND STAY THEREIN FOR PERFORMANCE OF THEIR WORK.
- 4) TO MAINTAIN AND USE PROPERLY AND EFFECTIVELY THE EQUIPMENT PURCHASED UNDER THE GRANT.
- 5) TO BEAR ALL THE EXPENSES OTHER THAN THOSE TO BE BORNE BY THE GRANT, NECESSARY FOR THE EQUIPMENT.

M. S.

M. S.

J.
J.

(5-1)

資源探査／訓練計画

(1) 地中海

基地 港：アレキサンドリア 乗組員8、訓練生8

主対象魚種：底魚（ヒメジ、レッドスナッパー、タイ、シタビラメ、エソ、イカ、ハタ、釣魚、ブルーフィッシュ）

使用漁具：底・中層トロール及び延縄

月	資源探査						訓練		備考	
	航海数	日数	予定漁場	距離（東西）(海里)	使用漁具	操業時間	訓練目的	訓練生数		
4月	1 2 3	8 8 8	アレキサンドリア 東部	30 60 >100	底・中層 トロール 延縄	日中 日中 夜間	1. 底、中層トロール使用 2. 魚探使用 3. 航海機器使用 4. 漁具修繕 5. 漁獲魚種に馴染む	8	1) 新漁場開発 2) 深海漁業 3) 中層トロール使用 4) 年間の資源評価 5) 最適漁場決定	
5月	1 2 3	8 8 8	同上	30 60 >100	同上	日中 日中 夜間	同上	8	同上	
6月	1 2 3	8 8 8	アレキ. 西部	20 100 >250	同上	夜間 夜間 日中	同上	8	同上	
7月	1 2 3	8 8 8	同上	20 100 >250	同上	同上	同上	8	同上	
8月	1 2 3	8 8 8	同上	20 100 >250	同上	同上	同上	8	同上	
9月	1 2 3	8 8 8	アレキ. 東部	>300	同上	日中 日中 日中	同上	8	1) ポートサイドから エル・アリシュま での処女漁場開発	
10月	1 2 3	8 8 8	同上	>300	同上	同上	同上	8	同上	
11月	1 2 3	8 8 8	同上	>300	同上	同上	同上	8	延縄不使用	
12月	1 2 3	8 8 8	同上	30 60 >100	同上	同上	同上	8	同上	
1月	(維持 及 び 修 理)									
2月	1 2 3	8 8 8	アレキ. 東部	>300	底・中層 トロール 延縄	日中 日中 日中	同上	8	延縄不使用	
3月	1 2 3	8 8 8	同上	>300	同上	同上	同上	8	同上	
計	33	264								

(5-2)

(2) スエズ湾

基地港：アタカ

主対象魚種：浮魚（イワシ、アジ）、キングフィッシュ、ハタ、レッドスナッパー等

使用漁具：旋網及び延縄

月	資源探査						訓練		備考
	航海数	日数	予定漁場	距離(浬)	使用漁具	操業時間	訓練目的	訓練生数	
11月	1 2 3 4	5 5 5 5	南方	15	旋網 延縄	夜間 日中	1. パワーブロック使用 2. 旋網漁具使用 3. 漁獲魚種の同定 4. 航海機器使用 5. ソナー使用 6. 航跡図使用 7. 魚取扱具使用 8. 魚類保存法	8	1) 新漁場開発 2) 大型漁具使用 3) 人力節約
12月	1 2 3 4	5 5 5 5	同上	15	同上	同上	同上	8	同上
1月	1 2 3	7 7 7	同上	50	同上	同上	同上	8	同上
2月	1 2 3	7 7 7	同上	50	同上	同上	同上	8	同上
3月	1 2	10 10	同上	>100	同上	同上	同上	8	1) 長期航海による 漁業
4月	1 2	10 10	同上	>100	同上	同上	同上	8	同上
5月	1 2	10 10	同上	>100	同上	同上	同上	8	同上
計	20	142							

(5-3)

(3) 紅海

基地 港：フルガダ

主対象魚種：イカ、カレイ、レッドスナッパー、ハタ類、釣魚、イワシ、ブープス

使用漁具：トロール

月	資源探査						訓練		備考	
	航海数	日数	予定漁場	距離(裡)	使用漁具	作業時間	訓練目的	訓練生数		
6月	1	25	南方	>200	旋網 延縄	夜間 日中	1. パワーブロック使用 2. 航海機器使用 3. 紅海海底地形に馴染 む 4. ソナー使用	8	・距岸3裡 ・実操業日：20日 ・漁場 (Foul Bay) フォール湾	
7月	1	25	同上	>200	同上	同上	同上	8	同上	
8月 9月	(維持 及 び 修 理)									・強風
10月	1	25	南方	>200	トロー ル 延縄	日中 夜間	同上	8	・距岸5裡 ・距岸3裡 ・漁場：スーダン海域	
計	3	75								
スエズ湾 、紅海 計	23	217								

Small white label or sticker in the bottom right corner, containing illegible text.